

## 平成29年度 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(独自提案事業) 採択事業整理案

資料7

## 【独自提案事業の採択の考え方】

1	市町村が制度化を図り予算確保した事業で、ぐんま緑の県民税の趣旨に合致するものについては、対象地等が特定されない段階でも独自提案事業として認める。ただし、交付決定は対象地等が特定されてから行うものとし、補助額は各事業毎の補助上限額以内とする。
2	森林整備後の管理体制が確保されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、各事業毎の補助上限額の1/2以内、同一地につき1回限りを条件に独自提案事業として認める。
3	市町村提案型事業(困難地整備支援/整備)により整備した箇所以外の森林に植栽するための苗木購入の支援にあつては、植栽及び森林造成の主旨・目的がぐんま緑の県民税の主旨に合致するものについて、「苗木購入」の補助上限額の1/2以内を条件に独自提案事業として認める。

## 【採択事業案】

番号	市町村名	事業名	事業内容	事業費(円)	事業費の内訳			審査会意見
					県補助金(円)	市町村負担金(円)	採・不	
1	高崎市	里山元気再生事業	野生鳥獣の隠れ場になっている竹林や里山林等の伐採・下刈を行い、緩衝帯を整備して、野生鳥獣被害の低減を図る。 20団体を予定	6,000,000	3,000,000	3,000,000	上記理由1により採択	・荒廃した里山・平地林の整備と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の「整備」の補助率(森林上限280千円/ha・竹林上限700千円/ha)を基準とし、実績は実行経費で積み上げること ・実施団体、箇所、面積を確定した後に補助金申請を行うこと
2	渋川市	竹林整備事業	放置竹林を間伐し、地域の安全・安心に資するほか、伐採竹の利活用についての調査研究を行う。 次年度以降の管理は特定の管理団体は設定せず、地権者や地域の自主的な管理を実施する。 竹林整備面積:0.50ha	2,160,000	540,000	1,620,000	上記理由2により採択	・荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の間伐については「困難地整備事業/竹林」の上限2,700千円/haの補助率を基準とする。 ・既に市が複数年調査をしてきたことから、内容に新規性が認められないため、調査研究に係る費用については補助対象として認めない。
合計				8,160,000	3,540,000	4,620,000		